

自動車／鉄道／飛行機  
電話／メール  
製鉄技術

モールス信号  
ラジオ／テレビ

蒸気機関

## イノベーション 1.0 技術革新

コンピューター

半導体

電池

プラスチック

光ファイバー

青色発光ダイオード

LED照明

電気自動車／燃料電池車

オンラインサイト

インスタント食品／冷凍食品

カーナビゲーション

インターネット

クラウドサーバー

ポータブル家電

携帯電話

家庭用ゲーム機

IoT

DIY

口コミサイト／総合予約サイト

## イノベーション 2.0 市場革新

クレジットカード

現金自動預け払い機（ATM）

通信販売

レンタルビデオ／リース家電

コンビニエンスストア

電子書籍

空き家シェア

動画／写真投稿サイト

SNS

スマートフォン

ウェアラブル端末

ビットコイン

## イノベーション 3.0 社会革新

フィンテック

ESG投資

iPS細胞

シビックテック

ドローン

自動翻訳

AI

3Dプリンター

グループサービス案内

AMITA

# ビジネスの力で、 今こそ社会革新を！

国内市場の収縮、世界的な環境制約強化、  
不安定なグローバル金融市場…

先の見えないこの時代に、日本企業が世界  
市場で戦い抜くためには、厳しい制約の中か  
ら新たな価値を創造する「イノベーション力」  
が必要です。

アミタは、40年にわたり環境課題・社会課題の  
解決をビジネスとしてきたノウハウを統合し、  
社会革新を目指す企業を支援します。

Shift to The Sustainable Ways

価格競争で疲弊する大量生産・大量廃棄型の持続不可能な企業

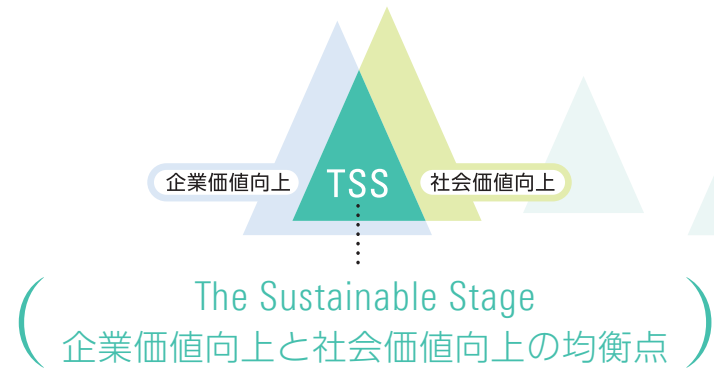
|                         |         |                          |
|-------------------------|---------|--------------------------|
| 先見性の不足<br>短期利益への執着      | ビジョン    | 高精度の将来予測<br>長期成長戦略の立案    |
| 環境・生態系破壊<br>大量廃棄・焼却埋立   | 社会・環境影響 | 環境・生態系保全<br>廃棄量削減・リサイクル  |
| 天然資源の乱用・乱獲<br>調達リスクの増大  | 資源調達    | 天然資源の計画利用<br>持続的な資源調達ルート |
| 社員モチベーションの低下<br>人材流出    | 組織力     | 仕事への誇りある組織<br>優秀な人材確保    |
| 価格競争による消耗<br>商品サイクルの短期化 | 競争力     | 価値競争による差別化<br>売れ続ける商品開発  |
| 顧客離れ<br>投資家離れ           | 社会的評価   | 支持顧客の増加<br>ESG投資による資金調達  |

価値競争で発展し、自然と人の心を豊かにする持続可能な企業

貴社の持続的成長を支援する統合サービス

# The Sustainable Stage サステナブルステージ

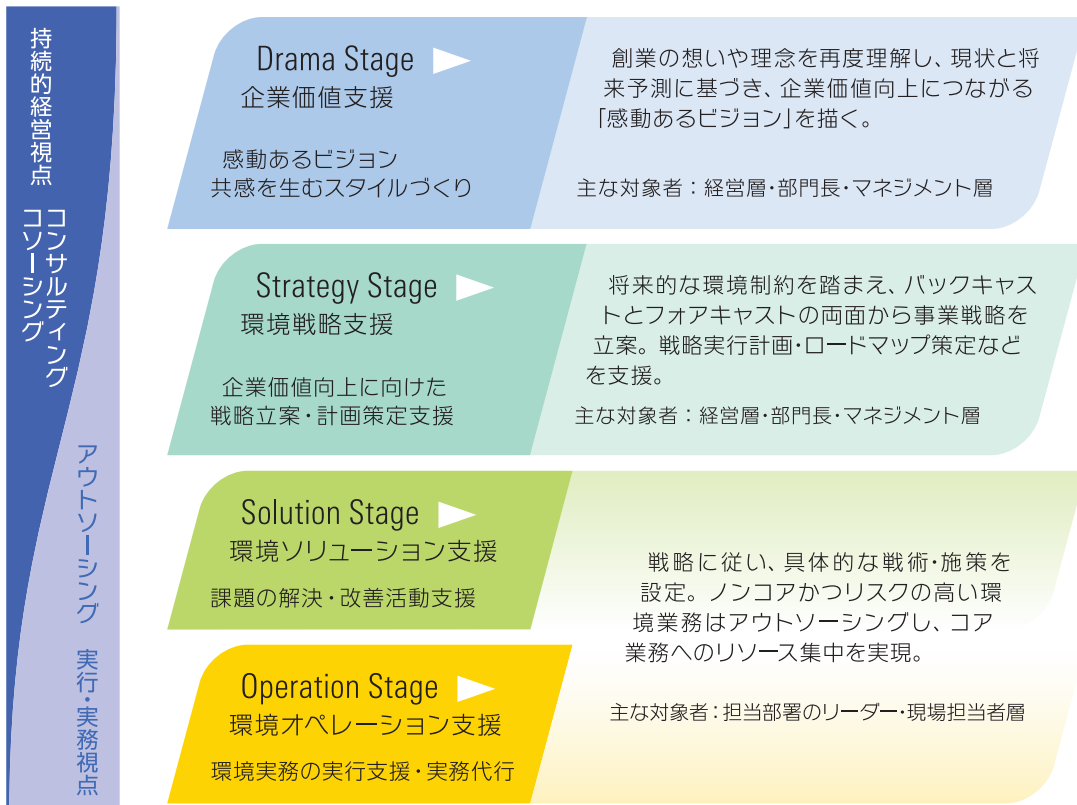
「The Sustainable Stage」は、厳しい環境制約下における事業の継続性を担保し、事業活動を通じた社会課題解決によって企業価値を向上させる、統合支援プログラムです。



SDGs\*の17項目などを用いて企業の目指す像を可視化  
※SDGs：Sustainable Development Goals (人間、地球および繁栄のための17の目標項目からなる持続可能な開発目標)

将来予測や取り組み結果は、IIRC\*が提唱する「6つの資本」の増減で定量・定性評価  
※IIRC：International Integrated Reporting Council (国際統合報告評議会)

## ▶ ビジョン策定から実行までを統合サポート



## ▶ 統合サポートを可能にするアミタの力

アミタグループは、これまで4,000種類以上の廃棄物を100%リサイクルし続け、また、時代と共に変化する環境ニーズに応え、延べ4,000社を超える企業の環境課題解決を支援してきました。

さらに1990年代からは地域創生支援を本格化。地域活動における合意形成と財源確保の難易度は、企業のそれを上回りますが、私たちは合理性・共感性・具体性を武器に、これまで60を超える地域の支援を行っています。

「The Sustainable Stage」は、アミタのノウハウを凝縮し、企業の「理想を現実に変える」ために生まれたサービスです。





The Sustainable Stage 提供例 ※機密保持のため、実際の提供実績を基に架空の企業例を掲載しています。

CASE 01 大手日用品メーカー A社  
創業98年目の老舗。商品の高付加価値化が課題



※SDGs：Sustainable Development Goals

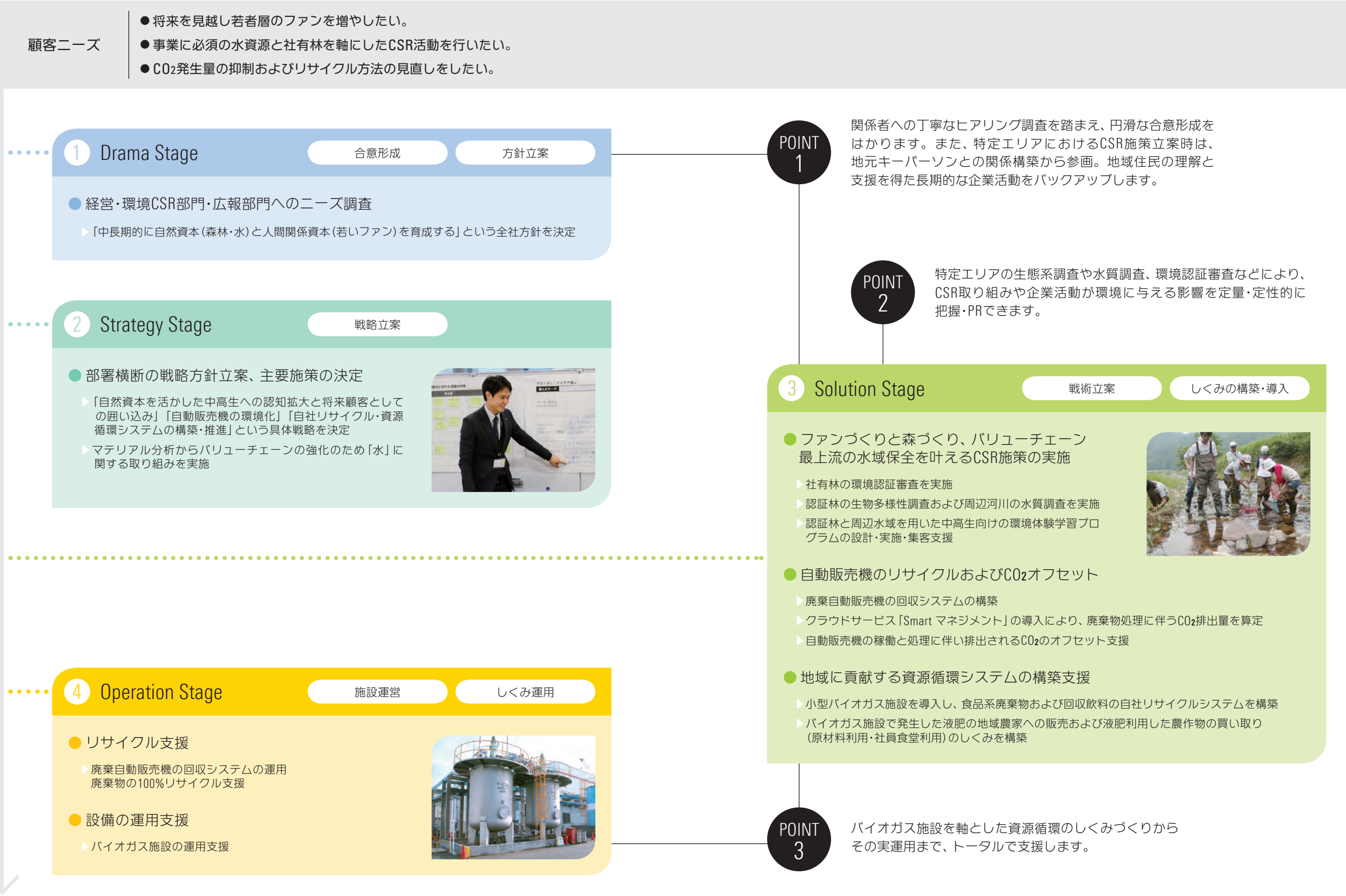
アマタ スマートエコ



The Sustainable Stage 提供例 ※機密保持のため、実際の提供実績を基に架空の企業例を掲載しています。

CASE  
02

大手飲料メーカー B 社  
飲料・健康食品などを総合的に扱うグループ会社





- Drama Stage
- Strategy Stage
- Solution Stage
- Operation Stage

シンクタンク・コンサルタントを超えるご提案

# Drama & Strategy Stage

感動あるビジョンづくりと、経営戦略に合致した環境戦略の立案で、企業価値の向上をお手伝いします。

## Drama Stage 企業価値支援

将来の環境制約、社会状況変化、ライフスタイル変化などを予測し、自社が提供すべき商品・サービスイメージを言語化・共有化することで、中長期的な企業価値向上のビジョンを描きます。

## Strategy Stage 環境戦略支援

ビジョンの実現に向けた環境戦略を立案します。不変の理念や企業文化と、変革すべきポイントの整理を行い、バリューチェーン全体の持続性を向上させる実行計画・ロードマップなどを策定します。

### “環境課題解決”に留まらない“企業価値の向上”を実現

貴社のビジョンにコミットする社員を増やす、共通認識を生み出す

部署別/縦割りの取り組みから、部署間連携によるプロジェクト型取り組みへ

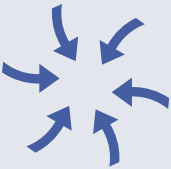
WILLを持てる 企業づくりへ



ビジョン策定から実行まで  
徹底的に寄り添います

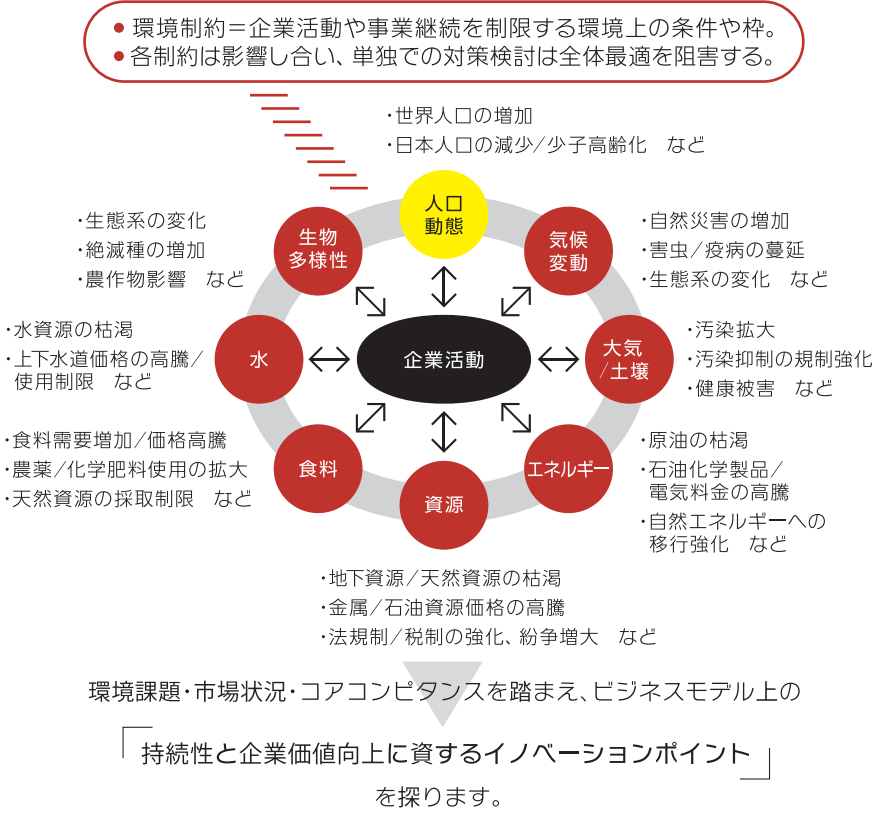
### 部分最適から 全体最適へ

個別の環境課題対策ではなく、統合的な解決施策を立案  
経営から現場まで、皆が腹落ちするビジョン、目標、実行計画の策定



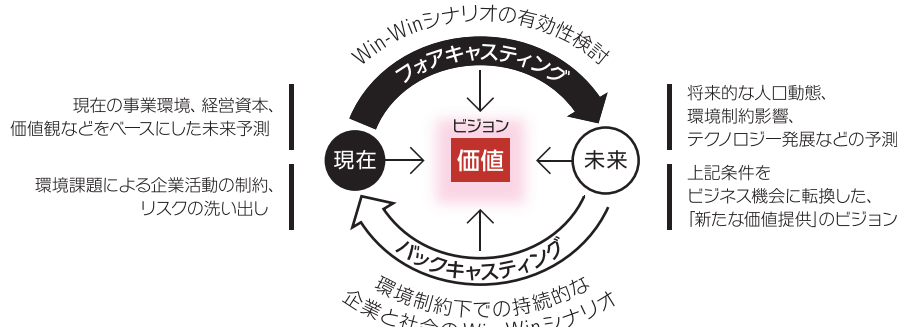
## ▶ ビジョン策定・戦略立案における特徴

特徴 1 企業が環境に与える影響と、将来的な環境制約を可視化



特徴 2 未来視点と現在視点を融合した戦略立案

「将来ありたい姿」からのバックキャスティングと「現在の状況」からのフォアキャスティングで、企業と社会のWin-Winシナリオを描きます。さらに、競合分析・顧客ニーズ・規制動向・取引先企業分析などの調査結果を踏まえ、シナリオ実現の具体戦略を立案します。





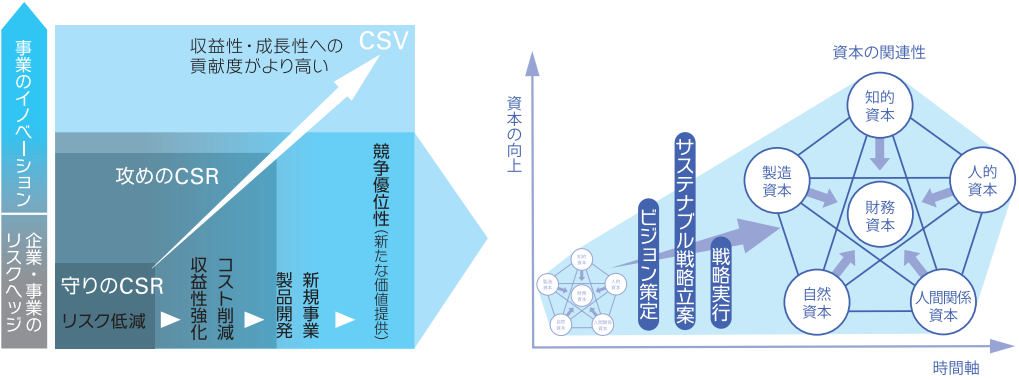
# Drama & Strategy Stage

### 特徴 3 CSRからCSVまで、施策の効果を資本増減で評価

企業は今「責任を果たす/社会に貢献する会社」から、「発展し、収益が上がるほど社会が良くなる会社」へのシフトを求められています。

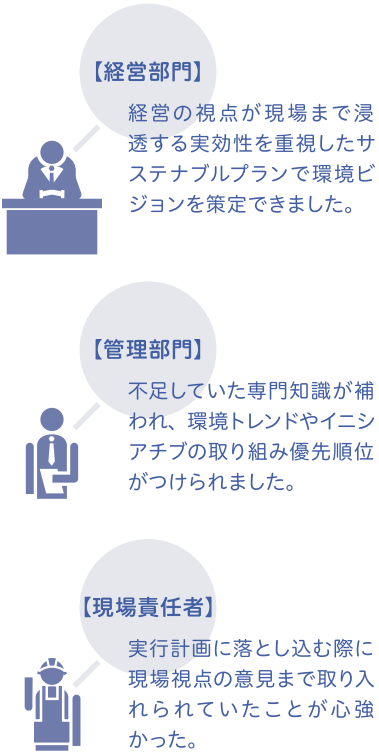
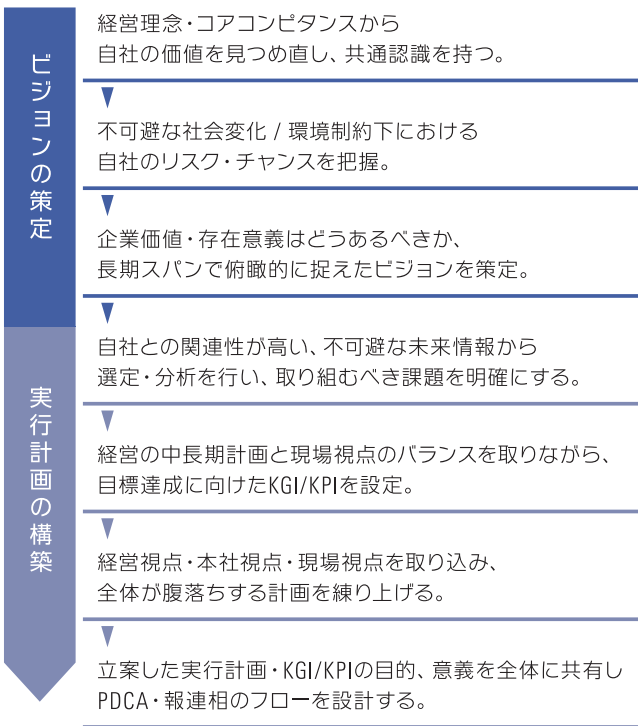
そこで「The Sustainable Stage」では、貴社のCSR・CSV取り組みが財務/非財務指標に及ぼす影響を、IIRC\*が提唱する6つの資本の増減で定量・定性的に評価します。

※IIRC：International Integrated Reporting Council (国際統合報告評議会)



### ビジョン策定の流れ

環境ビジョンから実行まで、経営/管理部門/現場を一貫サポート



## SDGsをサステナブル経営に活用するための研究会「SDGs戦略研究会」

SDGsが定める17の目標のうち、環境と関わりの深い目標に着目し、企業がSDGsを活用して経営戦略を立案するための専門知識・ノウハウ・ネットワークを提供します。

### 事業活動に大きく影響するSDGs

SDGs\*1は193の国連加盟国によって採択された、2030年に向けた人類共通の行動計画です。企業・社会へのインパクトは組織の社会的責任に関する規格ISO26000をはるかに超えると予測されています。  
※1 SDGs17の目標の詳細はP5

### 特徴

#### ● 各分野の第一人者による講義とディスカッション

講師陣には、環境・CSR・サステナビリティ分野の第一人者を迎えています。

社会課題の本質にせまり、イノベーションにつながる経営戦略立案に役立つ内容です。

- 講師例  
株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役 足立 直樹 氏  
NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク 副理事長 竹林 征雄 氏  
国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問 末吉 竹二郎 氏 他
- コーディネーター  
リーダーシップ・アカデミーTACL 代表 ピーター D. ピーターセン 氏  
(2018年開催実績)

#### ● 環境制約を踏まえた経営戦略立案に役立つ

- ▶ 将来の社会・環境制約下での現状を把握し、中長期的なチャンスとリスクがわかる
- ▶ バックカスティング・フォアカスティングなどの経営戦略検討に役立つ手法が身につく
- ▶ 講師陣や研究会メンバーとのつながりができる

#### ● 経営戦略立案の責任者に最適

対象は、企業の経営企画・事業開発・イノベーション・R&D部門などの担当役員や責任者です。  
特に、下記のようなニーズや課題をお持ちの方に最適です。

- ・ SDGsを理解し、長期的な経営戦略を立案したい
- ・ SDGsと自社の関連が不明確で、立案する戦略の方向性がわからない
- ・ SDGsの理解が部分的で、個別最適の施策が多い

〔受講者の声〕 SDGsは企業経営を考える上で、欠かせないものであると理解した。……………消費財業界 CSR部門  
今までの環境・CSRの取り組みやその歴史にとらわれずに、SDGsを活用した取り組みを行っていきたくと思った。……………建設業界 環境部門  
他業種の企業とのディスカッションが刺激的だった。……………化学業界 CSR部門



SDGs戦略研究会の様子

#### 講義

SDGsの各目標と全体像を理解する

・ 戦略立案の手法を学ぶ

(バックカスティング、フォアカスティングなどの理解)

#### ワーク・ディスカッション

自社事業とSDGsの関連性を抽出する

・ 関連性を深掘りし、自社の事業チャンスを考案する

・ バックカスティングなどを活用し、SDGsの達成・社会課題の解決につながる事業計画を立案する

自社の経営戦略に活用



- Drama Stage
- Strategy Stage
- Solution Stage
- Operation Stage

40年、4,000社を超える支援実績

# Solution & Operation Stage

実績豊富な幅広い支援メニューで、貴社のリスクとコストを低減し、資本を効率的に増加させます。

▶ 主な支援メニュー

Solution Stage 環境ソリューション支援

環境・CSR・CSVに関する幅広いソリューションメニューを提案・提供しています。その品質は多くのお客様から高い評価を受けています。



|                                         |                                                           |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 3R (Reduce, Reuse, Recycle) 資源循環システムの構築 | 廃棄物の発生抑制支援、広域認定取得支援、エコ商品開発支援、小型バイオガス施設を軸とする循環システムの構築支援 など |
| 代替資源の調達                                 | 代替資源調査、発生元企業調査 など                                         |
| リスク対策 コンプライアンス強化                        | 環境リスク調査、環境アドバイザリーサービス、環境管理書面のコンプライアンスチェック、業務委託先選定 など      |
| 業務効率化                                   | 業務管理システムの提供、各種マニュアル作成 廃棄物発生量のデータ蓄積、業務のICT化 など             |
| 教育研修                                    | 環境関連セミナー、オリジナル教材開発、オンデマンド研修、社員育成プログラム など                  |
| 生物多様性保全                                 | 生態系調査、生物多様性保全コンサルティング など                                  |
| マーケティング                                 | 環境サービスの市場調査、環境市場での顧客開拓支援 など                               |
| 環境認証                                    | 環境認証(森林・漁業など)審査、原材料のトレーサビリティに関する調査 など                     |
| CO2削減                                   | 森林のCO2吸収量調査、製造工程・廃棄物処理工程におけるCO2排出量削減支援、カーボンオフセット支援 など     |
| CSR活動 CSRコミュニケーション                      | 環境CSRコンサルティング、CSR報告書の作成・改善コンサルティング、CSR活動の情報発信支援 など        |
| 資金調達                                    | 補助金・助成金情報の調査、申請作業支援 など                                    |

Operation Stage 環境オペレーション支援

リスクが高く手間のかかる環境業務のノンコア部分を、アミタがお引き受けします。プロの品質でリスクを低減し、貴社の大事なリソースを戦略業務に集中できます。



|                                                            |
|------------------------------------------------------------|
| 100%リサイクルサービス、リサイクルオペレーション、廃棄物発生量のモニタリング 小型バイオガス施設の運用支援 など |
| 資源調達業務アウトソーシング、代替資源提供                                      |
| 廃棄物管理業務のICT化、アウトソーシング                                      |
| 廃棄物管理業務のICT化、アウトソーシング                                      |
|                                                            |
| テレセールス業務アウトソーシング、アンケート調査の業務代行 など                           |
| 各種モニタリング、データ管理業務アウトソーシング                                   |
|                                                            |
|                                                            |
|                                                            |

【2019年度の主な実績】

|                              |
|------------------------------|
| 「ビジョン策定・戦略立案に関する支援」          |
| 10社                          |
| 取引先顧客数                       |
| 1,383社                       |
| ※企業・自治体など(国内のみ)              |
| 100%リサイクル                    |
| 約853事業所から発生した廃棄物             |
| 約162,500t                    |
| ※自社製造所(国内のみ)とパートナーズ工場における実績値 |
| 代替資源の納品ユーザー事業所数              |
| 22事業所に安定供給                   |
| アウトソーシング(部分委託込)              |
| 23社提供                        |
| コンサルティング・調査業務                |
| 33社提供                        |
| 廃棄物管理システム「Smart マネジメント」      |
| 361事業者 2,583事業所提供            |
| 環境認証審査 取扱件数                  |
| 森林認証 FSC® FM 23件             |
| FSC® CoC 402件                |
| FSC® プロジェクト 30社              |
| 漁業認証 MSC/ASC CoC 135社        |
| ASC養殖場 9社                    |
| ※FSC®プロジェクトは累積実績             |
| ※2019年12月末時点                 |
| グループWebサイトユーザー数              |
| 約1,459,000ユーザー               |
| 環境情報メルマガ配信数                  |
| 約39,300人                     |



## 支援メニュー ICTで管理業務を劇的改革「AMITA Smart Eco」

ICT&アウトソーシングソリューションで  
環境管理業務のリスクとコストを大幅に削減し、  
最適なマネジメント業務の設計を支援します。

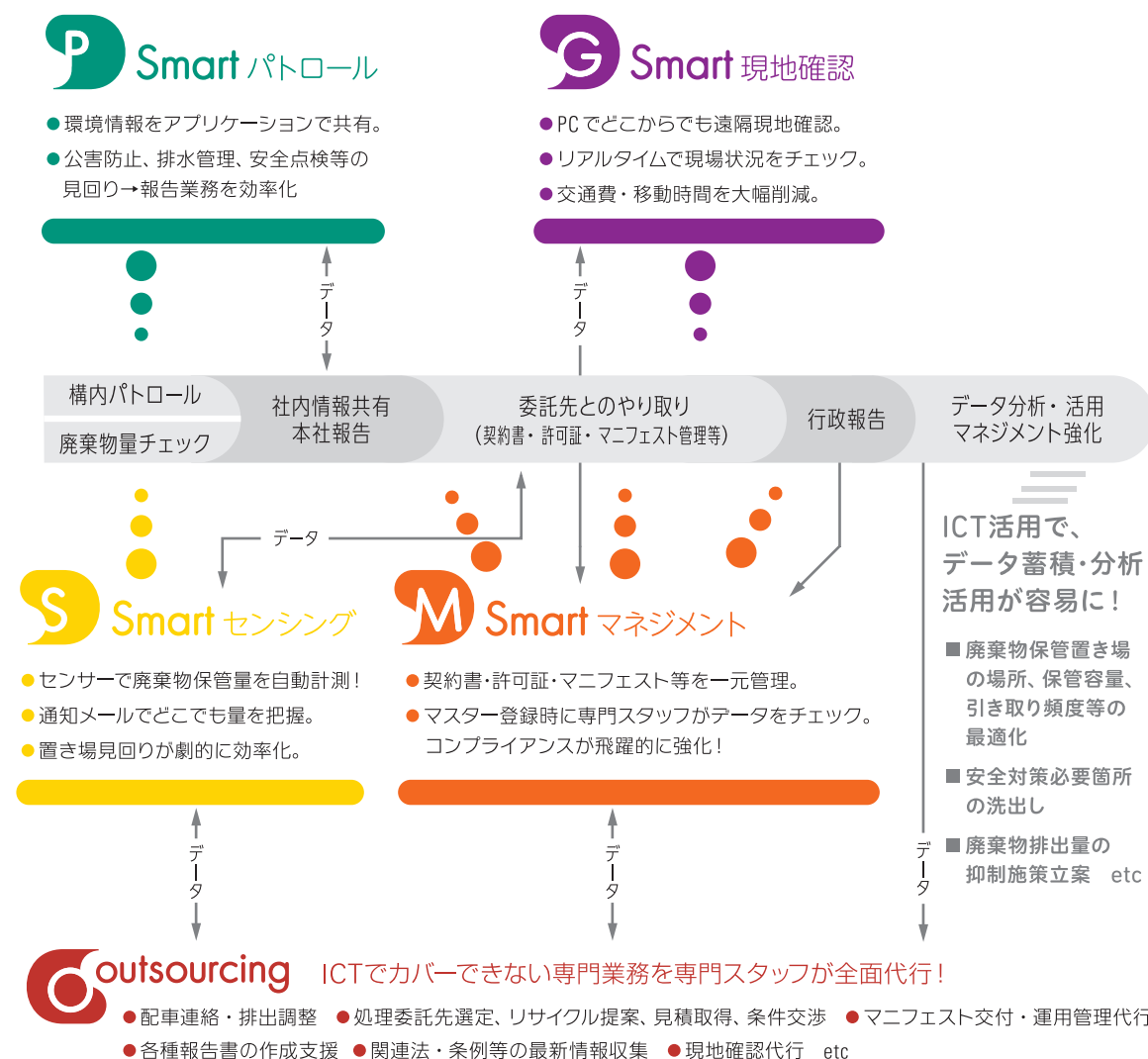


### ▶ 特徴

- 工場・物流拠点等における環境管理業務を大幅に効率化し、関連コストを最大約5割削減(当社試算)します。
- システム化と専門スタッフによる業務代行で、コンプライアンスが強化。環境リスクを低減します。
- システムに蓄積される各種の環境データを活用し、環境管理業務の最適なマネジメント方法を設計できます。
- 現場の提携業務の負荷を低減し、より個々人の能力を活かした高度な業務に貴重な人的リソースを配分できます。

### ▶ 全体像

5種類のICT機能とかゆい所に手が届くアウトソーシング機能で  
煩雑な環境管理業務を全面支援



## AMITA Smart Eco

### ▶ ICT機能

#### Smart センシング

- センサーで廃棄物置き場の保管量を自動計測します。管理者は、どこにいてもデータを確認できます。
- 保管量チェックのための置き場パトロール業務を効率化。炎天下や真冬の屋外作業を大幅に削減できます。
- 廃棄物保管量データを活用し、保管置き場のレイアウト、保管設備の規模などを見直すことで、廃棄物の引き取り回数を減らすなど、更なるコストダウン効果も。
- 原料や資材の残量確認にもつかえます。水路等に設置すれば災害対策にも応用できます。



#### Smart 現地確認

- 廃棄物処理委託先の現地確認を、実際に現地に足を運ぶのではなく、ビデオ通話システムを使用して遠隔で実施する仕組みです。
- 社内のPC画面で現場の生映像を見ながら、質問をしたり、より詳細をチェックしたい場所を伝えて確認することができます。
- 現地確認が滞っている遠方の委託先や、毎年の定期訪問先に対する隔年の利用などがお薦め。業務品質を落とすことなく、効果的に交通費、移動時間を削減できます。
- 複数工場や本社からも同時参加OK。現地に1人、他の担当者は自社から遠隔参加という使い方も。

貴社のご担当者様

廃棄物処理委託先のご担当者様



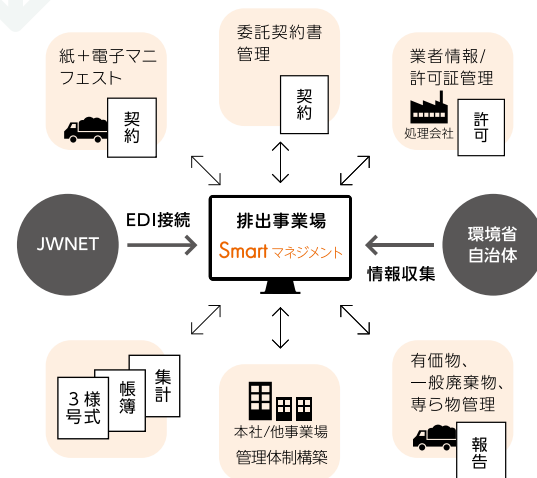


## AMITA Smart Eco

### M Smart マネジメント (e-廃棄物管理)

- 紙・電子マニフェスト、処理委託契約書等の帳票、許可証・文書類を、Web上で一元管理できるクラウドサービスです。
- マスター登録時に専門スタッフが法定記載事項をくまなくチェック。法令違反リスクを大幅に低減します。
- 紙・電子マニフェスト双方に対応。有価物や一般廃棄物の管理にも対応しています。
- 330社、2,100事業場以上が採用、継続率99%の大人気システム(2018年度実績)。

ネットワーク上で必要な廃棄物管理のデータを収集・管理！



### P Smart パトロール

- 構内の様子(画像、映像、テキスト等)を、複数の関係者でリアルタイムに共有する専用アプリケーションです。
- 複数部署が分担して実施している構内パトロール(廃棄物置き場、公害防止、資材置き場、植生管理、排水管理等)の情報共有を大幅に効率化できます。
- 簡単な操作で現場撮影・報告入力完了。パトロールしたその場で業務を完結できます。
- システムはサイボウズ社のkintoneを使用。セキュアな環境でデータを安全に管理できます。



## 「100%リサイクルサービス」 「代替資源の調達代理サービス」

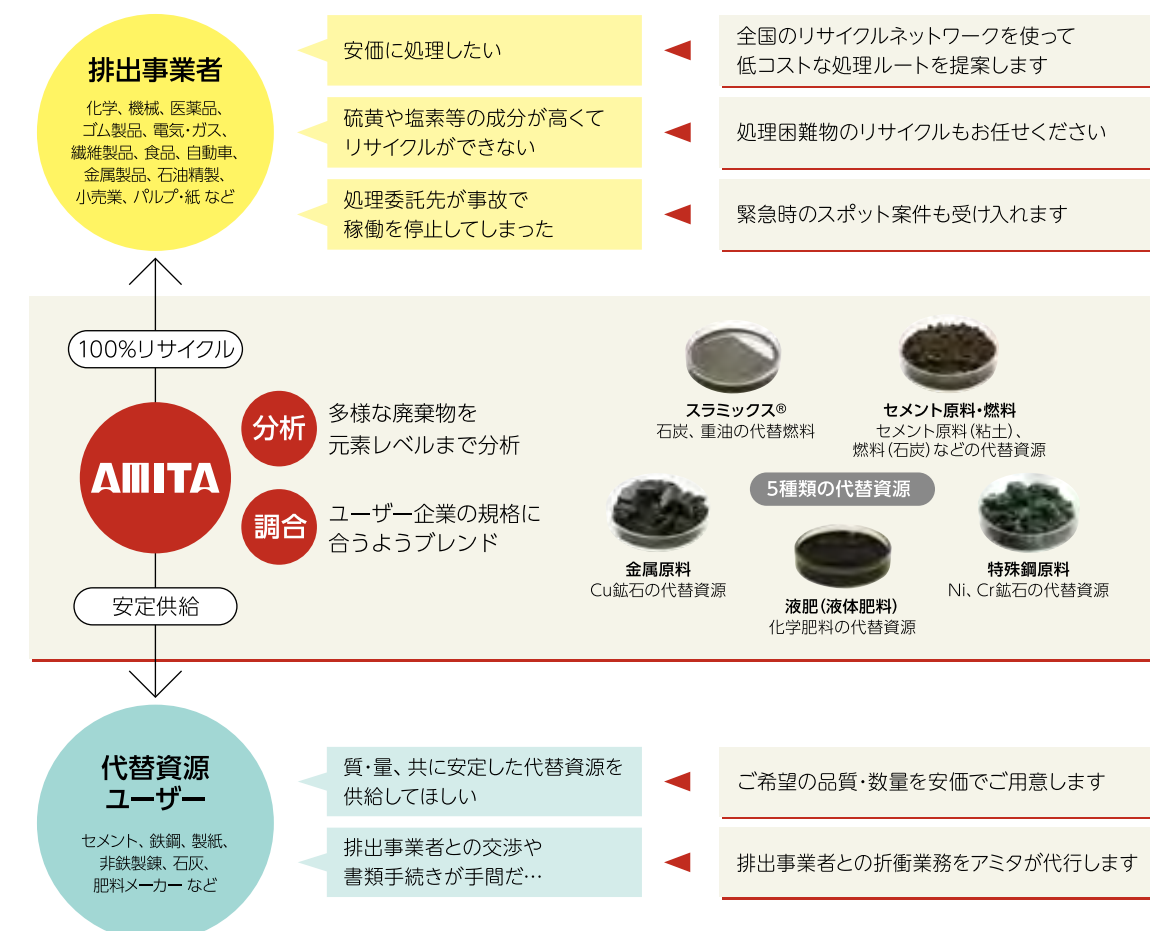
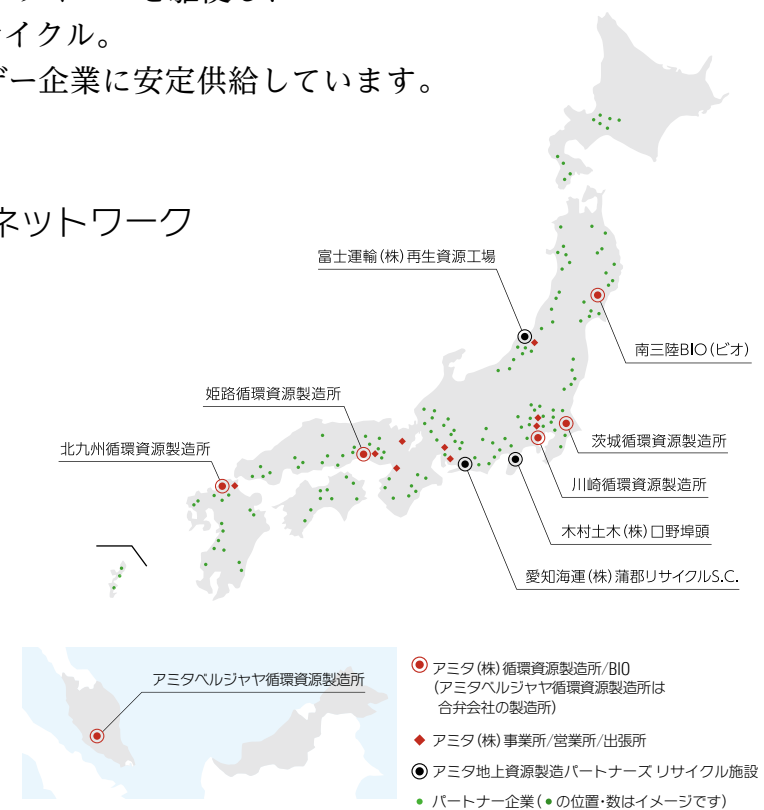
全国展開する資源製造プラットフォームを駆使し、多種多様な廃棄物を100%リサイクル。天然資源の代替として、ユーザー企業に安定供給しています。

### ▶ 安定・安価を可能にするネットワーク

安定的な廃棄物の受け入れとリサイクル資源の製造・提供を可能にするのは、国内外6カ所の自社製造所と300事業所を超えるリサイクル企業のネットワークです。

| 自社製造所*  | 製造パートナー   |
|---------|-----------|
| 6製造所    | 3拠点       |
| 排出事業者   | 収集運搬・処分会社 |
| 約950事業所 | 約300事業所   |

\*合併会社の製造所を含む







## 「環境認証審査サービス」

社会の持続性を高め、企業の信頼を向上する、国際的な環境認証制度。  
アミタ(株)は、日本初のFSC®森林認証審査会社／ASC養殖場認証機関であり、  
アジア初のMSC CoC認証機関です。

### ▶ 森を守る「FSC®/PEFC™森林認証」

FSC®/PEFC™森林認証は、森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかなう、経済的にも継続可能な形で管理された森林およびそこから生産された木材や木質製品に与えられます。

自治体や森林組合だけでなく、企業が社有林の認証を受けて環境教育のフィールドとしたり、認証材を用いた商品開発を行っている事例も多くあります。印刷会社や木材加工会社によるCoC認証取得も年々増加しています。



アミタは、FSC®に認定された認証機関ソイル・アソシエーションおよびSCSグローバルサービスと提携して森林認証審査サービスを実施しています。(FSC® N001887)



| アミタの審査サービス | FSC® | PEFC™ |
|------------|------|-------|
| FM認証       | ●    | —     |
| CoC認証      | ●    | ●     |
| プロジェクト認証   | ●    | ●     |

※FM認証：適切な管理がなされている森林を認証する制度  
※CoC認証：FM認証を受けた森林から産出された木材・紙製品を適切に管理・加工していることを認証する制度  
※プロジェクト認証：FSC®が定める規格に適合する森林由来材料を使用した「プロジェクト（建物・製品など）」を認証する制度



### ▶ 持続可能な水産物の証「MSC/ASC認証」

MSC認証は、適切に管理された、持続可能で環境に配慮した漁業の認証制度であり、ASC認証は、環境や社会に配慮された養殖場の認証制度です。

2010年以降、世界的に急速な広がりを見せ、近年日本でも、認証製品の需要が高まっています。事業を通じた社会貢献などを目的に、CoC認証を取得する水産加工会社や小売業者が増えています。



アミタは、MSC認定認証機関としてMSC CoC認証審査を、ASC認定認証機関としてASC養殖場認証およびASC CoC認証審査サービスを実施しています。(ASI-ACC-036)



| アミタの認証サービス | MSC | ASC |
|------------|-----|-----|
| 漁業／養殖場認証   | —   | ●   |
| CoC認証      | ●   | ●   |

2016年3月に、宮城県南三陸町のカキ養殖業が日本初のASC養殖場認証を取得しました。アミタは当審査を担当し、同月に日本初のASC養殖場認証機関となりました。



## 「生物多様性戦略／環境調査サービス」

アミタグループには、自然資本を持続的に活用するプロがいます。  
周辺の里地・里山・田園と連携した生物多様性の保全・向上施策など、  
高度なCSV戦略の立案・実施を支援します。

### ▶ 実効性ある環境CSR・CSVソリューションを提供

自社の事業が環境に与える影響を把握したり、事業を通じて自然環境の保全や人と自然の触れ合いに貢献することは非常に重要です。

アミタは、各種環境調査や自然資本を活用したCSR・CSV取り組みの企画・実施を支援しています。



#### 支援メニュー例

- ▶ 事業所建設予定地における環境保全戦略の立案・調査
- ▶ ビオトープの設計・設置・運用・メンテナンス支援
- ▶ 周辺地域の河川・水田エリアの生態系調査
- ▶ 環境共生農業の指導・マーケティング支援
- ▶ 体験型環境教育プログラムの開発・運営支援
- ▶ 森林のCO<sub>2</sub>吸収量算定
- ▶ 生物多様性に関する教育研修

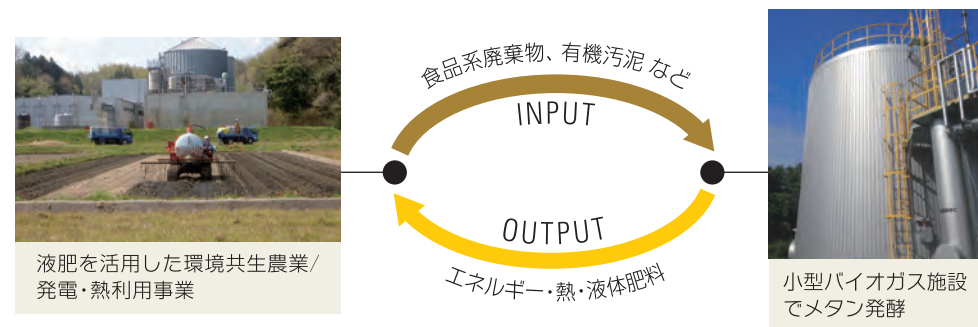
#### 支援先企業

- ▶ アサヒビール株式会社
- ▶ コクヨ株式会社
- ▶ トヨタ自動車株式会社 他多数

## 「バイオマス循環システムの構築・運営支援」

アミタは、食品系廃棄物や有機汚泥の循環利用を推進する小型バイオガス施設の設計・建設・運営から、副産物である液体肥料を活用したCSR活動の企画・運用まで、トータルで支援します。

【バイオガス施設を軸とする循環のしくみ例】



※循環のしくみの具体例はP24～27



# 消耗するふるさとに、 「循環」というテクノロジーを。

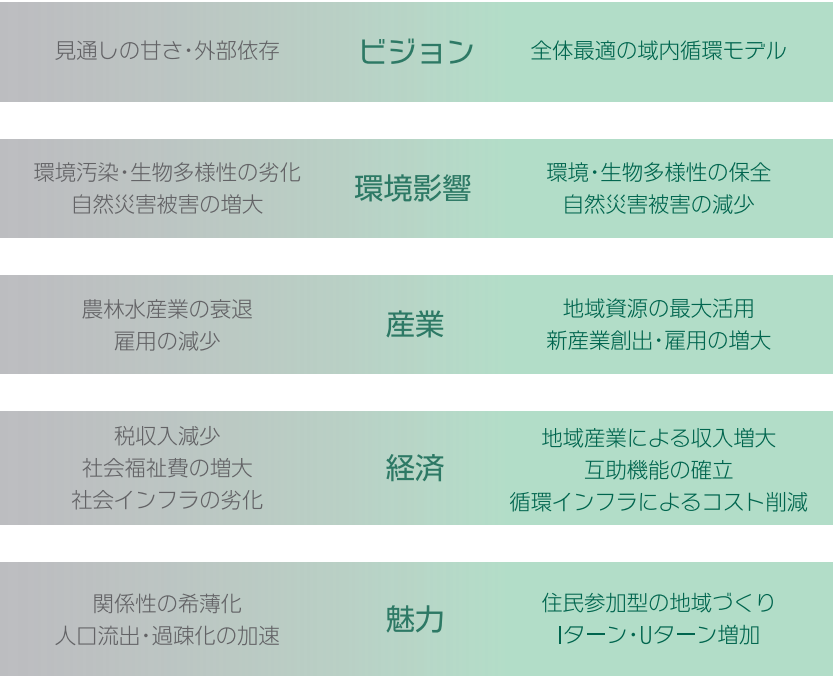
Shift to The Sustainable Ways

アミタは、地域における  
エネルギー・資源・食の自立を支援します。

ふるさとの自然や風景、営みの記憶は、いつの時代も  
人々の心を慰めます。しかし、一部の大都市を除き、  
日本の地域では今後、人口減少と高齢化が進み、資金  
不足・社会インフラの劣化・生産性の低下・社会福祉費  
の増加などの課題が深刻化すると予想されています。

アミタは「循環」をキーワードに、これらの課題解決を  
支援します。

自然と人々の関係性が劣化する  
持続不可能な地域

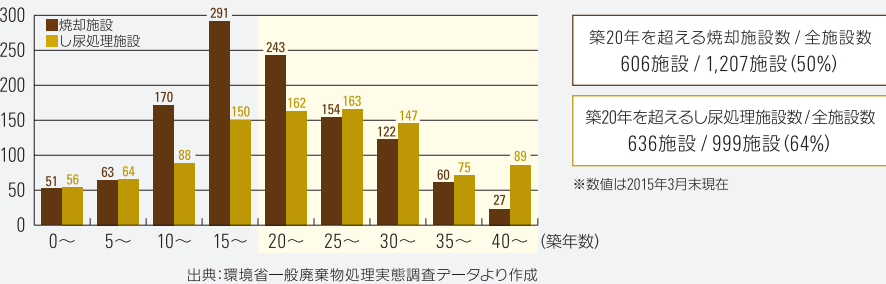


自然と人々の関係性が豊かになる  
持続可能な地域

## ●深刻化する社会インフラの老朽化

2015年のデータでは、国内のごみ焼却施設の50%、し尿処理施設の64%が、耐用年数である築20年を経過しており、このまま推移すれば、2022年には約半数が築30年を超えてしまいます。  
地方行政の多くが、これらの建て替え・改修費に頭を悩ませています。

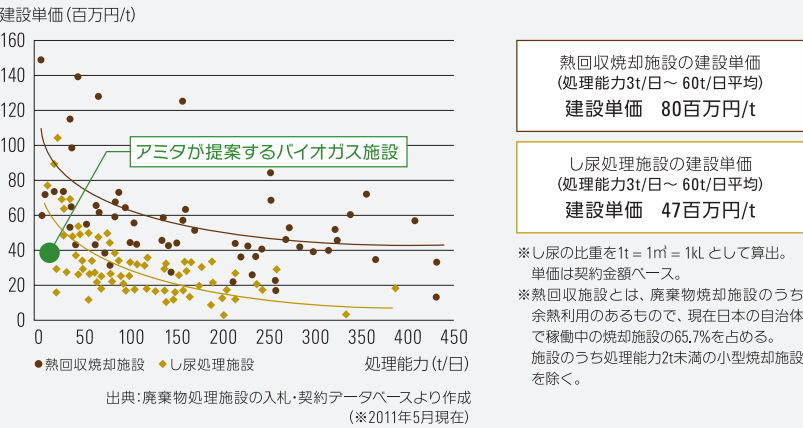
国内市町村の廃棄物焼却施設・し尿処理施設の築年数ごとの分布  
(施設数)



## ●小規模社会インフラ施設の整備費用

住民数に合わせ、処理能力の小さな小規模インフラ施設を設置する場合、通常、建設単価は高くなります。  
アミタが提案するバイオガス施設は、小規模で建設単価が低い、という特徴があります。  
その第1弾が、宮城県南三陸町で2015年10月より稼働を開始しています。

熱回収焼却・し尿処理施設の整備費用とアミタが提案するバイオガス施設の整備費用



アミタは、地域に見合った、無駄がなく、経済的にも成り立つ新たな  
しくみ (BIOシステム※) を提案し、域内の資源循環を叶える中核インフラ  
整備などを通じ、雇用・産業創出に貢献します。

※BIOシステムの説明はP22

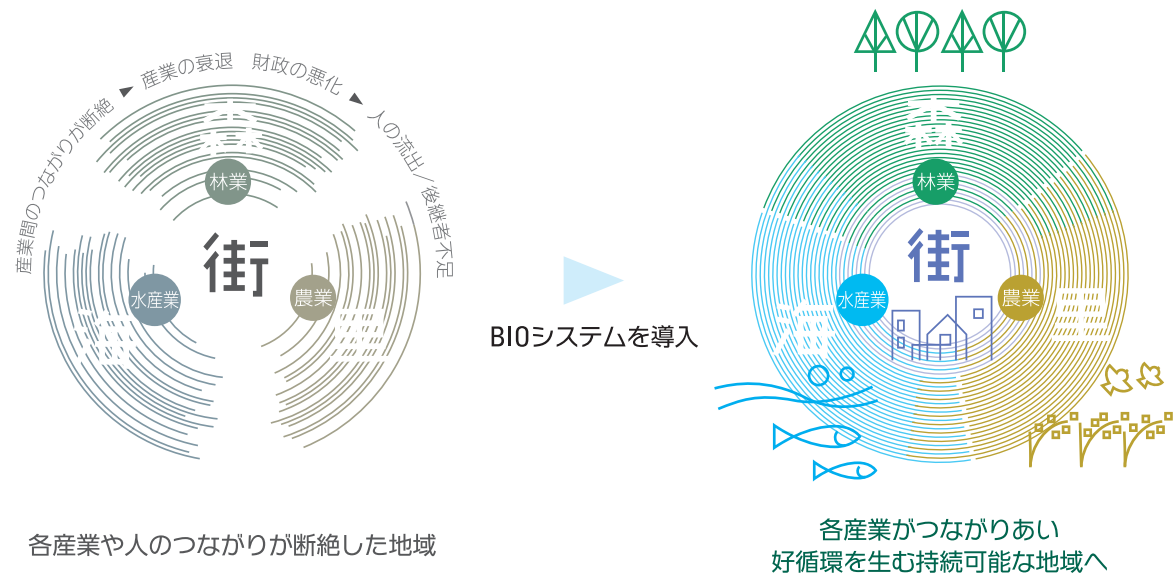


地域の持続性を高める統合支援サービス

BIO(バイオ)システム

「BIOシステム」は、地域内の未利用資源を活用し、森・里・海・街の各産業の互惠関係を創出します。さらに域内の資源循環を叶える中核インフラを整備し、雇用創出・産業創出に貢献します。

※BIOには、BIO（パイオ）とBest Integrated Operation（最も統合された活動）の略の2つの意味が込められています。



ビジョン策定から実行運営までトータルサポート

|              |                                   |                      |                 |                   |                 |
|--------------|-----------------------------------|----------------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 支援<br>フェーズ   | ビジョン策定支援                          | 実行支援、インフラ運営または運営サポート |                 |                   |                 |
| 資金調達<br>スキーム | 公的資金(補助金、助成金など)の活用、地域ファイナンスの検討 など |                      |                 |                   |                 |
| 事業<br>フロー    | 1 活用可能な<br>地域資源の調査                | 2 実証実験・<br>事業性検討     | 3 計画立案<br>および調査 | 4 事業投資・<br>インフラ整備 | 5 運営・<br>運営サポート |

資源循環インフラの構築

未利用資源の集荷～再生資源の活用までの全体最適解を設計し、運用請け負いまたは運用支援も行う。



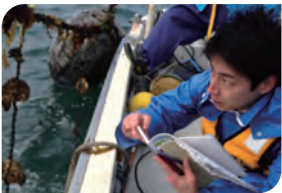
産業創出活動

域内の資源循環と地域価値を基軸に、新たな産業と雇用を創出し、域内経済の活性化を支援。



地域の価値増幅

自然資本や文化伝統など、地域の価値を底上げし、広く発信するしくみの構築を支援。



「BIOシステム」の支援領域

アミタの地域支援、3つの特徴

特徴 1 地域の資本を増幅させる「全体最適解」の設計

アミタは、地域の自然や独自の生態系、廃棄物や遊休施設・耕作放棄地などの未利用資源、さらに風習や文化といった見えない資本まで、まず現地で調査します。そして、これらの地域資本を最大限に活用し、新たな価値を引き出す全体最適の循環ビジョンを描きます。

現在、国内はもとより、パラオ共和国など、環境保全と域内経済の発展に課題を持つ国内外の地域のビジョン策定を支援しています。



宮城県南三陸町での町民との意見交換会



パラオでのこみ調査

特徴 2 自治体・住民と共に、徹底的に「当事者」になる

他のコンサルティング会社も、見栄えの良い絵は描いてくれた。でも、私たちと一緒に汗をかいて実現するところまで、とことん並走するという覚悟を示してくれたのはアミタだけだった。

南三陸町 役場職員T氏

俺らと一緒に、田んぼにも森にも入って生ごみも分別して、気付いたらこの町に住んでるんだもん。もう仲間、一蓮托生ってやつ。

南三陸町 農家A氏



宮城県南三陸町でのごみ分別の実証実験



パラオでのバイオガスタンクデモ実験

支援地域の方々からのこの声こそが、アミタの誇りです。自治体のパートナーとして、全住民参加型の地域づくりをけん引します。

特徴 3 実績に裏打ちされた確実な実行力・実現力

アミタは資源循環と自然資本活用のプロフェッショナル。40年にわたり培った循環ノウハウで地域資源の最適利用を叶えます。

主な実績

資源リサイクル

- 4,000種類以上の廃棄物を100%リサイクル
  - ▶ 自社工場6カ所（国内：5カ所、国外1カ所）※合併会社の製造所を含む
  - ▶ 性状・量ともに不安定な廃棄物から安定的に資源を生み出す独自技術

環境認証審査

- FSC®森林認証/ MSC水産認証/ ASC養殖場認証の国内初審査
    - ▶ FSC® CoC国内シェア25%、MSC CoC国内シェア47% など
    - ▶ 各種トレーサビリティ調査、CO2算定調査なども実施
- ※環境認証審査サービスの詳細はP18

バイオガス施設運営

- 国内最大級(当時)のバイオガス施設の立上げ・運営
  - ▶ 京丹後市にて10年以上の運営実績(2005年～2018年)
  - ▶ 自治体の指定管理者として集荷～運営までアウトソース
- 地域密着の中型バイオガス施設の設計・運営
  - ▶ 南三陸町にて2015年10月より運営
  - ▶ 住民主体の生ごみ分別指導(異物混入率1～2%を実現)
- 副産物の有効利用設計
  - ▶ 液肥利用の普及活動

地域支援

- 全国60地域以上で個別の課題解決支援を実施
- 2012年より宮城県南三陸町でBIOシステムの構築を支援
- 2016年より宮城県加美町でビジョン策定支援を実施
- パラオ共和国、ベトナムなどで資源調査などを実施



「BIOシステム」構築支援事例

# 宮城県南三陸町 森里海ひといのちめぐるまち

東日本大震災で甚大な被害を受けた南三陸町は、復興にあたり「南三陸町バイオマス産業都市構想」を定めました。地域のバイオマス資源を有効活用し、森・里・海・街のつながりを創出することで、人と環境にやさしく、災害に強いまちづくりを進めています。

アミタは、同町のビジョン策定から関わり、バイオガス施設の建設・運営や環境認証審査、環境共生農業の指導など、ビジョンの実現を支援しています。

## 南三陸のBIOシステム

アミタは、インプット(原料の調達)からアウトプット(再生資源の利活用)、さらには産業・雇用創出支援を含むアウトカム(地域価値の向上)まで、資源循環を軸としたバリューチェーンを設計するBIOシステムを提案・提供しています。

## 街

全住民による生ごみの分別が行われています。異物混入率は1〜2%と大変低く、バイオガス施設の安定操業につながっています。また、液肥の家庭菜園利用や民間でのペレットストーブ導入が増えており、地域住民も資源ユーザーとして欠かせない役割を担っています。現在、生ごみ以外のごみの資源化のしくみづくりを推進しています。さらに農林漁業における産物の加工・域内流通・外部販売等、新産業の創出に力をいれています。



## バイオガス

焼却炉や下水処理施設に代わる新社会インフラとして、2015年10月にバイオガス施設「南三陸BIO(ピオ)」を開所し、運営しています。町内の生ごみやし尿汚泥等を回収してメタン発酵させ、電気と液体肥料(液肥)を生成します。液肥は町内の農地や家庭菜園で活用されます。これにより、近隣市で焼却処理していた生ごみの資源化と域内循環が可能になりました。※詳細はP26、27



## 木

間伐材や林地残材をペレット化し、燃料として活用するための実証実験を2012年に実施。現在、町を中心に実用化に向けた準備・検討がなされています。



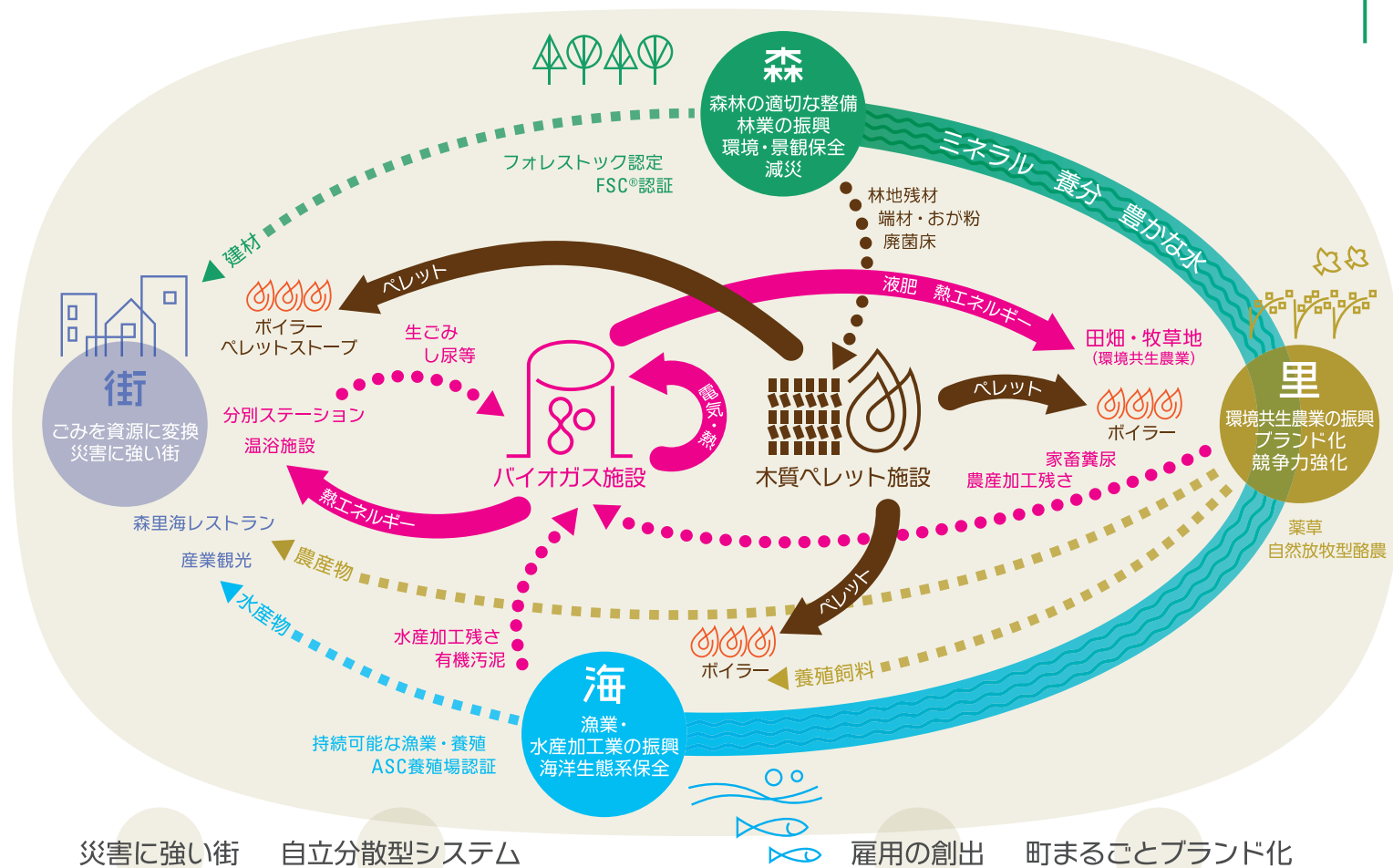
## 森

「津波で生き残った森は町の財産。この森を、木材生産だけでなく、地域の水質や生物多様性を守る機能として持続的に活用したいんです。」  
震災後、地元林業家がFSC®森林認証の取得を決意。2015年7月にアミタが認証審査を実施し、同10月に認証を発行しました。町の公共施設にこの木材を使用する動きも広がっています。



## 里

2012年3月、復興のシンボルとして、環境共生農法によるササニシキの無農薬栽培を地元農家に提案。近代農法に疑問を抱く農家により、2012年に実証栽培スタート。付加価値の高い新商品として徐々に流通を増やしています。2012年には薬草トウキの実証栽培も開始。またバイオガス施設から出る液肥を用いた作物栽培が始まり、化学肥料からの切り替えが進んでいます。



災害に強い街 自立分散型システム 雇用の創出 町まるごとブランド化

※南三陸町バイオマス産業都市構想の全体イメージ  
(同町提供資料をもとに作成)

## 海

アミタは2015年11月、南三陸町のカキ養殖業に対し、日本初となる「ASC養殖場認証」の審査を実施し、2016年3月に認証を発行しました。「ASC認証」は環境・社会の側面から水産業の持続可能性を審査する国際認証制度です。同町では、震災後、過密養殖をやめて認証取得することで「自然と共生する町」としてのブランドを高めています。

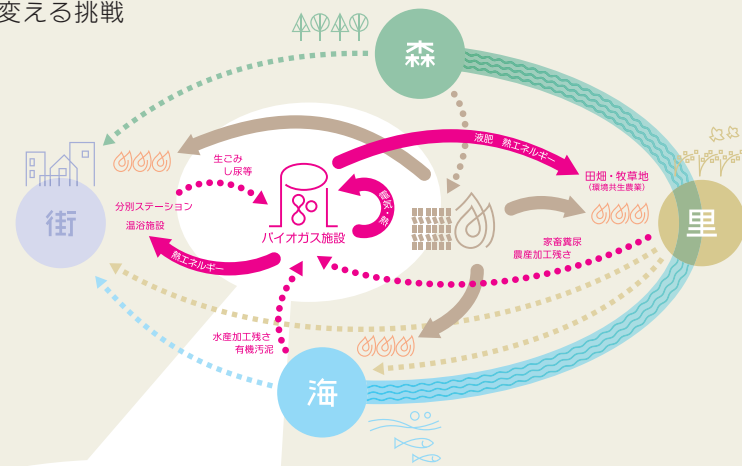




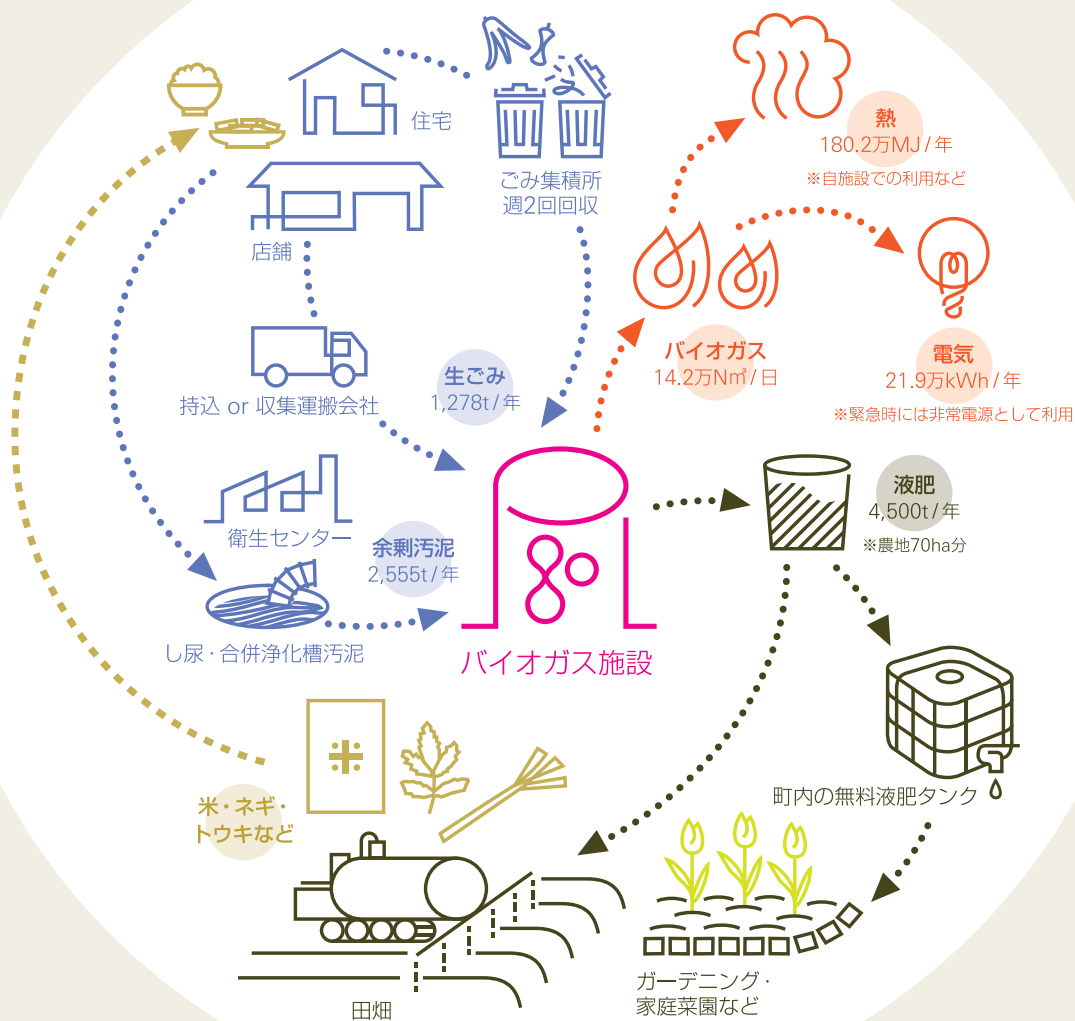
## 南三陸町で展開するBIOシステムの要 バイオガスプラント南三陸BIO

南三陸BIOは、同町の「バイオマス産業都市構想」の核となる資源循環インフラです。

南三陸BIOを中心とした持続可能なまちづくりは、大量生産大量消費のライフスタイルを変える挑戦として、国内外から注目されています。



### ▶ 南三陸BIOのしくみ



### ▶ 南三陸BIOが地域にもたらす効果 資源循環を通じて、人と人、人と自然がつながるしくみ

#### 異物混入率低減を目指し、地区ごとの分別状況や分別ノウハウを共有

- 生ごみの分別状況をBIO内の掲示板で発表
- 分別優良地区は町のWebサイトなどで表彰
- 分別ノウハウや取り組みの意義などを紹介する地域新聞の発行

#### 地域への効果

- 表彰制度などによる住民の取組意欲向上
- 分別協力による人々のつながりの強化



#### 資源化された液肥を地域内に還元

- 液肥散布業務を地元企業に委託
- 液肥を利用した生産物が地元の資源循環に貢献する製品として流通
- 町内に無料の液肥タンクを設置し、住民に還元

#### 地域への効果

- 液肥散布の仕事を生み出す
- 液肥還元による住民の取組意欲向上
- 液肥利用農家の化学肥料購入費削減
- 液肥を利用した生産物の差別化



#### 資源回収率向上に向けて、参画した事業者を可視化

- 分別協力者である民宿・レストランなどの事業者に協力の目印となる「めぐりん提灯」を配布

#### 地域への効果

- 参画事業者の差別化
- 店舗利用者に対する取組の認知向上



#### バイオガス施設を教育・観光スポットとして活用

- 環境教育として、地域の学校や町民の視察見学を受入
- 先進事例視察先として、海外からの見学を受入
- 地域団体企画の見学ツアーにも参画し、町外からの視察見学を受入

#### 地域への効果

- 新たな観光資源として、地域のブランド化に貢献
- 住民の方々が取り組みの意義、注目度に気づく



#### 地域への全体的な効果

地元への誇りが生まれる

地域のブランド化が進む

地元へ新規事業や起業家が誕生

町全体に助け合い、挑戦しようという機運が高まり、住民主導の新しい取り組みが次々と誕生しています。



アミタホールディングス(株) 京都本社 / (株) アミタ持続可能経済研究所 京都本社  
京都府京都市中京区烏丸通押小路ル秋野々町535番地 日土地京都ビル2階

アミタホールディングス(株) 東京支社 / アミタ(株) 東京本社  
東京都千代田区神田鍛冶町三丁目6番地7 ウンピン神田ビル5階

#### サービスのご相談・お問い合わせ先

- アミタグループお問い合わせ担当  
TEL 0120-936-083  
E-mail [contact@amita-net.co.jp](mailto:contact@amita-net.co.jp)

#### 事業・サービスサイト

- 企業向けサービスをご紹介  
環境戦略デザイン事業サイト <https://www.amita-net.co.jp/>
- 地域向けサービスをご紹介  
地域デザイン事業サイト <https://www.aise.jp/>
- その他専用サイト  
SDGs戦略研究会サイト <https://sdgs-strategy.jp/>

#### 情報提供サイト

- CSR・環境戦略お役立ちサイト  
「おしえて！アミタさん」 <https://www.amita-oshiete.jp/>  
月間ユーザー数 約65,000人、月間ページビュー 約144,000PV  
※数値は2018年1～12月平均

2030年、イノベーション3.0が世界を変える



**AMITA**